

第30回小川杯教育リーグ戦大会要項

2022. 4

1 開催期間等

- (1) 期 間 2022年4月17日から10月上旬予定
(「予選リーグ1」は8月、「予選リーグ2」は9月を目途に終了願います)
- (2) 決勝戦 10月上旬予定

2 試合形式

- (1) 「予選リーグ1、2」
 - ① 出場チームを6ブロック(A、B、C、D、E、F)に分けて、「予選リーグ1」を行います。
 - ② 「予選リーグ戦1」の各ブロック1位通過を2グループに分けて、「予選リーグ2」を行います。
 - ③ 「予選リーグ2」は、A・C・E組の1位 と B・D・F組の1位 に分けて行います。
 - ④ 「予選リーグ戦1、2」の順位は、勝点制で決定します(勝ち:2点、引分:1点、負け:0点)。
 - ⑤ 勝点の同じチームが2チームの場合は、直接対決で勝った方を上位とします。
 - ⑥ また、勝点の同じチームが3チーム以上の場合は、失点(タイブレークの失点も含む)の少ないチームから順に上位とします。
 - ⑦ 「予選リーグ1」は8月、「予選リーグ2」は9月を目途に終了願います。
- (2) 決勝トーナメント
 - ① 「予選リーグ2」の1位通過が決勝戦、2位通過が3位決定戦に進みます。
 - ② 決勝戦当日は、3位決定戦と決勝戦を行います。
- (3) ルール等
 - ① 6イニング制を採用とします
 - ② 試合時間は、1時間20分を過ぎて新しい回に入らないものとし、勝っている後攻チームが攻撃中にこの時間を越えた場合は、その時点で試合が成立したものとする。
 - ③ 6回終了あるいは規定時間を越えて同点の場合は、タイブレーク方式(ワンアウト2、3塁バッター3番から、以後は継続打順)とする。なお、タイブレークは1回のみとする。
 - ④ 投手のイニング制限を行います。
イニング数を4イニング。
 - ⑤ 決勝戦・3位決定戦は、コールドゲームのルールを適用せず6回まで行う。
 - ⑥ 試合球は内外ボールJ号。試合毎に2個提出(試合終了後にグラウンド提供チームへ)。
 - ⑦ 塁間は23m、投捕間は16mとする。
 - ⑧ 審判は対戦両チームから出し、3審制を原則とする(審判員は審判員らしい服装でお願いします)。ただし、決勝戦・3位決定戦は、主催者側が手配します。
 - ⑨ 試合をダブルヘッダーで行うことがないように努めてください。

3 表彰

優勝	優勝旗、優勝カップ、賞状、金メダル、愛知県知事賞
準優勝	準優勝楯、賞状、銀メダル、名古屋市長賞
第3位	3位楯、賞状、銅メダル、名古屋市会議長賞

4 その他

- (1) 試合結果は、勝利チームが 各ブロック長へ 責任をもって連絡してください。
ブロック長は、事務局（和田）まで、報告してください。
- (2) 試合開始 30 分前には集合してください。
- (3) ホームベースは一般用を使う事を原則とします。
- (4) 捕手はキャッチャーズヘルメット、レガース、ファウルカップ（推奨）等を必ず着用してください。
- (5) 少年野球にふさわしいマナーを守ってください。
- (6) 競技中における選手の傷害については、主催者側で責任等は負いません。
スポーツ保険に加入して、各チームで責任を持って対処してください。
- (7) 審判の判定には従ってください。
- (8) 天候不良等による中止の判断は、対戦チーム同士の話し合いで決定してください。
- (9) その他、定めなき事項については、(財)全日本軟式野球連盟の発行する「競技者必携」に準じて、行ってください。

5 注意事項

選手や関係者の皆さんの健康に留意して頂くのと同時に、対戦が終わった後チーム内でコロナウイルスへの感染が確認された場合は、当日試合会場に居た方々に通知しますので、速やかに事務局まで連絡してください。